

神戸大学大学院国際文化学研究科
令和8年度（2026年度） 博士課程前期課程入学試験 試験問題

科目名	ページ
英語	1-3
日本語	4-6
情報	7-9

注意事項

著作権に対する配慮のため問題文を省略している場合があります。

令和8年度(2026年度)神戸大学大学院国際文化学研究科 博士課程前期課程入学試験

基礎科目 試験問題 外国語(英語)

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票、筆記用具(※筆箱等から出すこと)、時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは不可。)、メガネ、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー(袋または箱から中身だけ取り出したもの)、「持ち込みが認められた辞書」のみです。
3. 携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチやスマートグラス等のウェアラブル端末等の電子機器類は使用できません。電源を切ってかばんに入れておいてください。アラームの設定を解除していない場合、電源を切っても鳴ることがありますので、必ずアラームの設定を解除しておいてください。
イヤホンは耳から外し、かばんに入れておいてください。
また、腕時計は机の上に置き、腕には何も身につけないでください。
4. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
5. 試験中に質問等があれば、手を挙げて監督者に申し出てください。
6. 試験開始後30分間は退室できません。
7. 試験開始30分経過後は退室することができます。退出する場合には、解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
8. 基礎科目については、出願時に選択した問題以外の問題を解答しても無効になります。
9. 解答用紙を何枚使用してよいかは、問題ごとに指定されていますので、解答する前に必ず確認してください。解答用紙が指定された枚数より多く綴じられている場合がありますが、指定された枚数を使用して解答してください。
10. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお、解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
11. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和8年度(2026年度)神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
基礎科目 試験問題 外国語(英語)

(注)問題用紙 5 枚、解答用紙 2 枚、下書き用紙 1 枚

問題 I,II の解答は、それぞれ指定された解答用紙に日本語で記入すること

問題 I 以下の英文を読み、問 1～問 3 に日本語で答えなさい。

(問題文省略)

出典:David Crystal (2002), “English in the New World,” *Babylonia*, 1, pp. 16–17.

(一部改変)

問 1 下線部 (1) ‘new varieties of English’ の特徴を、第 1 段落の内容に即して説明しなさい。

問 2 下線部 (2) について、著者がこのように述べる根拠を本文に即して説明しなさい。

問 3 下線部 (3) を日本語に訳しなさい。

問題 II 以下の英文を読み、問 1～問 3 に日本語で答えなさい。

(問題文省略)

出典: Katrine Marçal (2012), *Who Cooked Adam Smith's Dinner?: A Story about Women and Economics*, Granta publication, pp. 7–17. (一部改変)

注: アダム・スミス (Adam Smith; 1723-1790) イギリスの経済学者、思想家。『国富論』 (*The Wealth of Nations*) の著者。

問 1 下線部(1)の理解とは、どのようなものか、本文の記述に基づき、説明しなさい。

問 2 下線部(2)は、どのような経済を指しているのか、本文で述べられている例に基づき、説明しなさい。

問 3 下線部(3)を日本語に訳しなさい。

令和 8 年度 (2026 年度) 神戸大学大学院国際文化学研究科 博士課程前期課程入学試験

基礎科目 試験問題 日本語

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票、筆記用具（※筆箱等から出すこと）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは不可。）、メガネ、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋または箱から中身だけ取り出したもの）、「持ち込みが認められた辞書」のみです。
3. 携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチやスマートグラス等のウェアラブル端末等の電子機器類は使用できません。電源を切ってかばんに入れておいてください。アラームの設定を解除していない場合、電源を切っても鳴ることがありますので、必ずアラームの設定を解除しておいてください。
イヤホンは耳から外し、かばんに入れておいてください。
また、腕時計は机の上に置き、腕には何も身につけないでください。
4. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
5. 試験中に質問等があれば、手を挙げて監督者に申し出てください。
6. 試験開始後30分間は退室できません。
7. 試験開始30分経過後は退室することができます。退出する場合には、解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
8. 基礎科目については、出願時に選択した問題以外の問題を解答しても無効になります。
9. 解答用紙を何枚使用してよいかは、問題ごとに指定されていますので、解答する前に必ず確認してください。解答用紙が指定された枚数より多く綴じられている場合がありますが、指定された枚数を使用して解答してください。
10. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお、解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
11. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和8年度(2026年度)神戸大学大学院国際文化学研究科

博士課程前期課程入学試験

基礎科目 試験問題 日本語

(注)問題用紙 4 枚、解答用紙 2 枚、下書き用紙 1 枚

問題 I、II の解答は、それぞれ指定された解答用紙に、日本語で記入すること

問題 I 次の文章を読んで、あとの問 1～問3に答えなさい。

(問題文省略)

出典：安藤馨「(憲法季評) ゆらぐ福祉国家の基盤、分断される国民 若年世代からの収奪、対処法は」、『朝日新聞』2025年5月15日朝刊(一部改変)

問1 下線部(1)の「怒り」とは、誰が持つどのような怒りなのか、本文に即して100字以内で説明しなさい。

問2 下線部(2)について、著者はどういう状況を「逆襲」と表現しているのか、150字以内でまとめなさい。

問3 下線部(3)について、著者は福祉国家の特徴をどのように説明しているか、150字以内で説明しなさい。

問題Ⅱ 次の文章を読んで、あとの問1～問3に答えなさい。

(問題文省略)

出典：謝花直美『戦後沖縄と復興の「異音」』有志舎、2021年、2-5頁(一部改変)

(注1) 琉球国……沖縄本島を中心として1429年から1879年まで存在した国家。

(注2) 集団就職……中学・高校の卒業者が地方から都市部の企業などへ集団で就職すること。

(注3) おり……液体中に沈んだもの。

問1 儀間進は翁長知事という言葉について、下線部(1)のように意義づけているが、なぜこれまで

問2 下線部(2)について、沖縄の教員たちが「標準語励行運動」を推進した理由は何か。筆者の考えを100字以内でまとめなさい。

問3 下線部(3)について、筆者はなぜそう思うのか、本文に即して150字以内でまとめなさい。

令和 8 年度 (2026 年度) 神戸大学大学院国際文化学研究科

博士課程前期課程入学試験

基礎科目 試験問題 情報

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票、筆記用具（※筆箱等から出すこと）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは不可。）、メガネ、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋または箱から中身だけ取り出したもの）、「持ち込みが認められた辞書」のみです。
3. 携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチやスマートグラス等のウェアラブル端末等の電子機器類は使用できません。電源を切ってかばんに入れておいてください。アラームの設定を解除していない場合、電源を切っても鳴ることがありますので、必ずアラームの設定を解除しておいてください。
イヤホンは耳から外し、かばんに入れておいてください。
また、腕時計は机の上に置き、腕には何も身につけないでください。
4. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
5. 試験中に質問等があれば、手を挙げて監督者に申し出てください。
6. 試験開始後30分間は退室できません。
7. 試験開始30分経過後は退室することができます。退出する場合には、解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
8. 基礎科目については、出願時に選択した問題以外の問題を解答しても無効になります。
9. 解答用紙を何枚使用してよいかは、問題ごとに指定されていますので、解答する前に必ず確認してください。解答用紙が指定された枚数より多く綴じられている場合がありますが、指定された枚数を使用して解答してください。
10. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお、解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
11. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和8年度(2026年度)神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
基礎科目 試験問題 情報

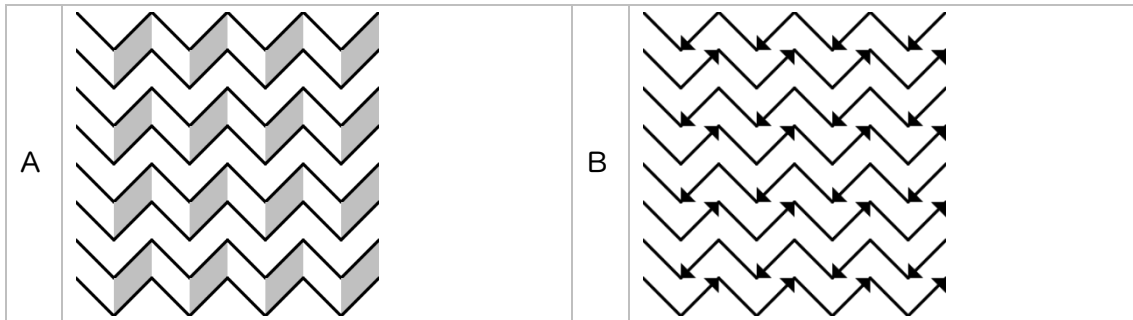
(注)問題用紙 2 枚、解答用紙 2 枚、下書き用紙 1 枚
問題 I、II の解答は、それぞれ指定された解答用紙に記入すること

問題 I 以下の用語 (ア)~(コ) について日本語または英語で簡潔に説明しなさい。

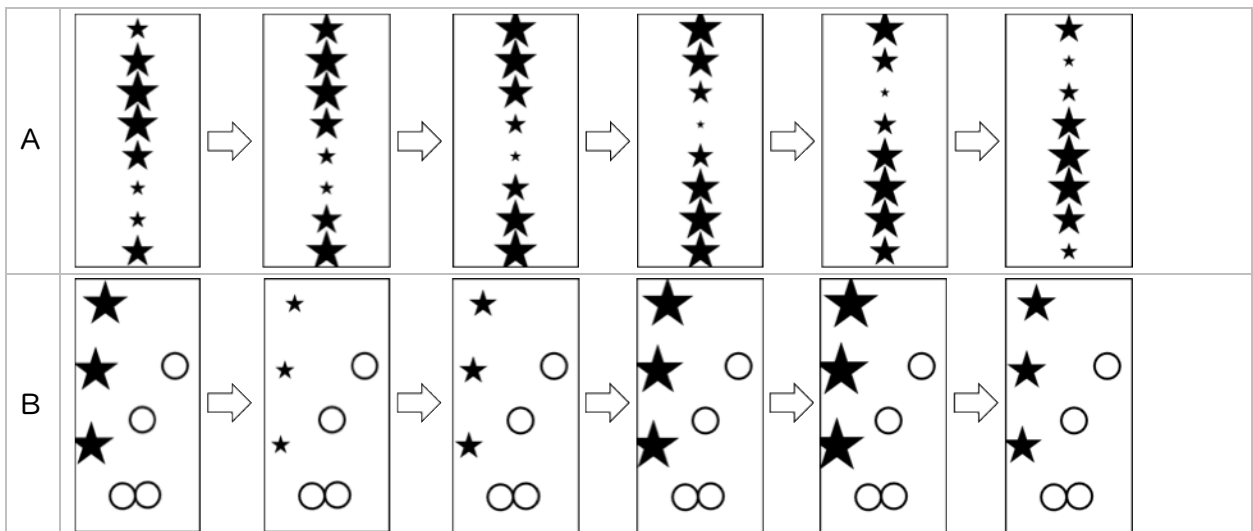
- (ア) 教師あり学習
- (イ) LLM
- (ウ) 文字化け
- (エ) フィルターバブル(filter bubble)
- (オ) GPU
- (カ) 秘密鍵
- (キ) インタフェース(interface)
- (ク) 5G
- (ケ) DX
- (コ) 拡張子

問題Ⅱ 問1~3のそれぞれにプログラムによって出力されることを想定したAとBの2つの図を示す。いずれのプログラムを作成する方がより難しいと考えられるか。「Aの方が難しい」「Bの方が難しい」「どちらも同じ程度」のうち、該当する選択肢の□にチェックを入れ、その理由を日本語または英語で説明しなさい。

問1



問2 (一定時間ごとのアニメーションゲームのスナップショット)



問3 (アクションゲームのスナップショット)

